

第1号議案

平成20年度事業報告

きょうと食育ネットワークの取組状況（平成20年度）

1 普及・啓発事業

◆会員対象食育講演会の開催

日時：平成20年6月6日（金）15:00～16:30

場所：京都府公館 レセプションホール

演題：「日本料理の節度と品位」

講師：京料理「菊乃井」主人 村田 吉弘 氏（NPO法人日本料理7がミ-理事長）

◆食育リレー講座の開催

○テーマ 「子どもへの食育をみんなで進めよう！」

○開催講座

実施日	実施団体	講座テーマ	場所
7月 8日(火)	京都府生活研究 グループ連絡協議会	郷土料理伝承講習会 ～季節の野菜をおいしく～	JA京都中央 乙訓支店
7月10日(木)	京都府助産師会	「親になるかもしれない貴方へ ～赤ちゃんからのメッセージ～」	キャナル・スプラザ 京都
8月 2日(土)	京都府栄養士会	「調理の不思議」～じゃがいもを用い て幾通りの料理が出来るか？～	京ICQZ-センター
9月27日(土)	京都府生活協同組合連合会 京都生活協同組合	「小学生のための食育ー通信型食育70 グラム～生協「たべるたいせつキッズク ラブ」の活動紹介～」	せいきょう 会館
11月26日(水)	京都府歯科医師会	「食育 ～歯科からの発信～」	府歯科医師 会館
12月6日(土)	京都府食生活改善 推進員連絡協議会	「おやこ料理教室わくわくクッキング」	向日市市民 会館

◆「きょうと食育シンポジウム2008」の開催 <農林水産省 につぼん食育推進事業>

日時：平成20年11月24日（振替休日）13:30～16:00

場所：京都市アバンティホール

内容：基調講演

テーマ：食農教育を通して「食べること」は「つながること」に気付く子どもたち

講師：館岡真一 氏（上越市立高志小学校教諭）

<2007年度「地域に根ざした食育」について最優秀賞を受賞>

パネルディスカッション

テーマ：進めよう！子どもへの食育 ～農業体験で子どもたちが得るもの～

コーディネーター：勝野美江 氏（前 農林水産省消費・安全局 消費者情報官補佐）

パネリスト：館岡真一 氏（上越市立高志小学校教諭）

伴 亜紀 氏（宇治田原町立保育所栄養士）

四方美代子 氏（前 きょうと女性農業委員の会会長）

木曾布恭 氏（京都府PTA協議会副会長）

展示

食に関する展示（ふるさと加工食品、バランスのとれた献立モデルなど）

◆きょうと食育強化月間（11月）

「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして取組を推進

◆イベント出展等による啓発

行事名	協力会員	内容
京都府農林水産フェスティバル (11/29. 30)	京都府食生活改善 推進員連絡協議会	料理カードを使った献立づくり
スーパーでの食育啓発事業 (10/25. 31)	京都府栄養士会	食生活診断
食育勉強会 (2/15)	京都食育キャラバン隊	話題提供
大学生対象料理教室 (3/2)	京都食育キャラバン隊	食育講座

2 情報の収集及び情報提供

- ◆ネットワーク用HPに、会員からのお知らせ等を掲載。京都府発行のメルマガ（隔週発行）にネットワークからの情報を掲載（20団体 41回）
- ◆食育支援活動などを記載した、会員間で情報が共有できる会報誌「きょうと食育ネットワーク通信」を作成・配布（1回）
- ◆「きょうとの食育」サポート企業の募集開始
（現在：4企業（大阪ガス、花王、平和堂、明治乳業））

3 食育事例の紹介及び取組の拡大

- ◆「平成20年度きょうと食育事例集」を作成。77事例を掲載。
（ネットワークHPに掲載：<http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/network.html>）

4 会員間の交流（会員交流会の開催）

- ◆5月、7月に同志社大学町家キャンパス「江湖館」にて開催
話題提供及び意見交換

5 総会等の開催

（1）通常総会

- ◆日時 平成20年6月6日（金）14時～
- ◆場所 京都府公館 レセプションホール（京都市上京区烏丸通一条下る）
- ◆内容 議案の審議 規約改正、事業報告、事業計画

（2）役員会、幹事会

- ◆平成20年9月2日（幹事会）
 - 「きょうと食育シンポジウム2008」の開催について
 - 企業等の食育支援情報収集について
 - 食育事例の収集について ほか
- ◆平成20年9月17日（役員会）
 - 9月2日幹事会の概要報告
- ◆平成21年3月16日（幹事会）
 - 20年度の取組について
 - 21年度通常総会の開催について
 - 21年度事業計画について
 - 20年度京都府食育推進行動計画の実施状況について

「食育リレー講座」結果概要

府民運動として、食育を推進するため、食育に取り組む団体やグループ等で構成する「きょうと食育ネットワーク」では、食育リレー講座（統一テーマを設定し、会員団体がそれぞれの特性を生かした講座をリレー形式で開催）を開催しました。

1 趣旨

府民、特にこれから親になる世代や子育て中の方に、各ネットワーク会員団体が得意とする分野の食育をリレー形式で紹介することにより、子どもへの食育について考え、理解を深める契機とする。

2 テーマ：「子どもの食育をみんなで進めよう」

3 講座一覧

実施日	実施団体	講座テーマ	場所
7月 8日(火)	京都府生活研究グループ連絡協議会	郷土料理伝承講習会 ～季節の野菜をおいしく～	J A 京都中央乙訓支店
7月10日(木)	京都府助産師会	「親になるかもしれない貴方へ ～赤ちゃんからのメッセージ～」	キャンパスプラザ京都
8月 2日(土)	京都府栄養士会	「調理の不思議」～じゃがいもを用いて幾通りの料理が出来るか？～	京ICQZ-センター
9月27日(土)	京都府生活協同組合連合会 京都生活協同組合	「小学生のための食育ー通信型食育プログラム～生協「たべるたいせつキッズクラブ」の活動紹介～」	せいきょう会館
11月26日(水)	京都府歯科医師会	「食育 ～歯科からの発信～」	府歯科医師会館
12月6日(土)	京都府食生活改善推進員連絡協議会	「おやこ料理教室わくわくクッキング」	向日市市民会館

<開催結果>

●京都府生活研究グループ連絡協議会

『郷土料理伝承講習会 ー季節の野菜をおいしくー』

日時：平成20年7月8日（火曜日）午前10時～午後2時

場所：J A 京都中央乙訓支店

参加者：一般公募11名



講師の方による説明



地元産の季節の野菜を使って調理

<メニュー>

- ・花菜とちりめんじゃこごはん
- ・なすとキュウリの即席漬け
- ・賀茂茄子のそぼろあんかけ
- ・なすと豆腐のみそ汁
- ・新タマネギの和え物
- ・グリーンピースのババロア

● 社団法人京都府助産師会

『親になるかもしれない貴方へー赤ちゃんからのメッセージ』

講師：藤井智子氏（出張開業助産師）

日時：平成20年7月10日（木曜日）午後6時30分～午後7時50分

場所：キャンパスプラザ京都 4階第4講義室

参加者：大学生、妊産婦など約70名

藤井助産師による講演の内容

- ・ 助産師の仕事
- ・ 妊娠・出産の体験談
- ・ 赤ちゃんのからのメッセージ 等



● 社団法人京都府栄養士会

『調理の不思議ーじゃがいもを用いて幾通りの料理ができるかー』

日時：平成20年8月2日（土曜日）午前10時～と午後2時～の2回

場所：京（みやこ）エコロジーセンター

参加者：府民親子（5歳児～小学生）54名



参加者全員で、じゃがいも料理の調理法を学習



みんなで協力して調理



みんなで美味しく楽しく試食

● 京都府生活協同組合連合会・京都生活協同組合

『小学生のための食育ー通信型食育プログラムー生協「たべるたいせつキッズクラブ」の活動紹介ー』

日時：平成20年9月27日（土曜日）午前10時15分～12時

場所：せいきょう会館4階第1会議室（京都市中京区烏丸夷川東南角）

参加者：15名

内容：

- ・ 京都生協が取り組んでいる「たべるたいせつキッズクラブ」の内容紹介
- ・ 「たべるたいせつキッズクラブ」のメンバー、サポーターの体験を報告



● 社団法人京都府歯科医師会 『食育 ～歯科からの発信～』

講師：社団法人京都府歯科医師会学校歯科部会 宗川理事

日時：平成20年11月26日（水曜日）午後2時～午後3時30分

場所：京都府歯科医師会館

参加者：歯科医師、養護教諭、栄養士など43人

講演の内容：

- ・「食育」こそ生命を守る教育と思う。健康へのスタートは噛むことから始まる。食べ方を歯科から発信したい。
- ・子どもに対する食のしつけ（良く噛んで食べる。好き嫌いはダメ。・・・）ができていない状況にある。
- ・噛むことは非常に大事であり、脳に刺激を与え、脳を活性化する。学習効果が高まる。
- ・「大切な歯を使って」「どんないいことができるか」を歯科からの発信として考えていきたい。



講演の様子



● 京都府食生活改善推進員連絡協議会 『親子料理教室 わくわくクッキング』

日時：平成20年12月6日（土曜日）

場所：向日市市民会館（向日市寺戸町中ノ段17-1）3F 調理実習室

参加者：親子、小学生 計約30名

内容：親子料理教室

（献立）デコレーションずし・野菜のポタージュスープ・フルーツポンチ



講師の方による説明



親子で協力して調理



できあがり！きれいにできました。



みんなで試食。おいしそう～！

「きょうと食育シンポジウム2008」結果概要

- 1 趣 旨 「農業体験等体験型の食育を通じ、『食』を選択する力を体得させる」ことの大切さを実践例を通じて普及する。
- 2 日 時 平成20年11月24日（振替休日・月曜日）13:30～16:00
- 3 場 所 京都市アバンティホール
- 4 来場者 約150名
- 5 内 容

(1) 基調講演

テーマ：食農教育を通して「食べることは「つながること」に気付く子どもたち
講 師：舘岡真一 氏（上越市立高志小学校教諭）
＜2007年度「地域に根ざした食育」ワークル」において最優秀賞を受賞＞



- ・子供たちが、食べるということをも自分の問題としてとらえて、頭と心で考えられるような学習ができないかと思い、総合的な学習「いただきますのために」として米の栽培と豚の飼育を行った。
- ・米作りでは田起し、代かき、田植え、草取り、稲刈りなどの作業を自分たちの手で体験し、その米を文化祭で販売した。
- ・豚の飼育では、出荷する1ヶ月前から、自分たちが育てた豚を自分は食べるかという問題について一人一人が考え、友達や保護者と話し合いながら「食べること」「生きること」について考えを深めた。
- ・「上越の御馳走」に取り組んだ。「自分たちのふるさとの味は何か」という課題に対して家族や地域の人に月毎の御馳走を聞き取り、主となる食材を路線バスや電車を乗り継ぎ、自分の足で農家を訪問して購入するという正に御馳走（走り回って食材を集める）の活動を行った。
- ・地域とのつながりを密にし、子どもたちは、「地域のみんなから支えられて学習している」という気持ちが芽生えてきた。
- ・頭の理解だけで行動が伴わないことがあるが、子どもの変容を焦らずに待つという教師の姿勢が必要である。

(2) パネルディスカッション

テーマ：進めよう！子どもへの食育 — 農業体験で子どもたちが得るもの—
コーディネーター：勝野美江 氏（前 農林水産省消費・安全局 消費者情報官補佐）
パネリスト：舘岡真一 氏（上越市立高志小学校教諭）
伴 亜紀 氏（宇治田原町立保育所栄養士）
四方美代子 氏（前 きょうと女性農業委員の会会長）
木曾布恭 氏（京都府PTA協議会副会長）



< 舘岡 氏 >

- ・子どもたちに農業体験をさせる際、最初に子供たちが共通理解できる目標を立てることが重要。教師からの押し付けではなく、自分たちがみんなで決めた目標に対しては、みんなが頑張る。
- ・教師が幾ら力説するよりも、農家の方が米づくりの話をした方が、よっぽど浸透する。教師の仕事は、子どもを変えることではなく、子どもたちを変えてくれる人を探して出会わせればいいんだというふうにも考えられる。教師が子どもを変えるのではなく、子ども自身が自分たちでいろいろと感じ、自分たち自身で変わっていくものだと思っている。
- ・子どもというのは安定した環境の中で自分の力というものを発揮できる。その心の安定を子どもたちに持たせるのに、農業体験とか総合的な学習で思いっきり心と体を解き放って田んぼに出かける、川に出かける、森に出かけるということはとても重要。そうした安定した環境で学んだ子どもたちだからこそ学力もしっかり身につくと思う。

< 伴 氏 >

- ・地域の方と密着をしながら食農教育をしている。農作業も地域の方に手伝っていただき、指導をしていただきながら農作業を進めている。
- ・日常生活である保育の中の「食」として様々な取組みを進めている。
- ・地元の農家の方が、「今日、この野菜とれたから使って」と持ってこられることがある。そうした食材等の都合により献立を急遽変更する場合がある。

< 四方 氏 >

- ・農から食につなげていくことを大切なことだと思い、農業塾を継続して行っている。冬野菜のお漬物を漬けたりしている。
- ・専業農家として、安全で安心なものを消費者に届けられるよう長く農業を続けていきたい。
- ・日に一度も御飯食べてない子が多く、その子どもたちに何か日本に昔からある食べ物を伝えたいなと思い、体験活動を始めた。

< 木曾 氏 >

- ・朝食を毎日きちっと食べている子どもほど学習習慣も身につけていて、よい成績につながっているという調査結果がある。京都府PTA協議会では「早寝、早起き、朝ごはん」というテーマで様々な取組を進めている。
- ・一緒に食べるという行為、そして感謝して食べるという行為、食を通じたコミュニケーションは、子どもにとって、どんな教科書よりもすばらしい生きた教材であると思う。
- ・少年野球でも、プロ野球OBなど本物の人の言うことは、子どもはよく聞いてよく吸収する。食についても、本物の味、生産者の苦労など教えられるような本物の食育が必要であると思う。

< 勝野 氏 >

- ・各パネリストの話で共通するのは、何かに取り組むには、同じ気持ちをみんなが持つということがとても大事だということ。
- ・子どもたちが変わることによって大人も変わることができる。私たち大人は、子どもたちを育てているのではなく、育ちを助けてるという意識が大事だと思う。当たり前前であるということが当たり前じゃない環境に今の子どもたちは育っていて、今後もさらに食育の活動を進めていく必要がある。

6 アンケートの主な意見

- ・食は1番大切なことなのにおさなりにされがち。家庭が基本であるが、保育所、幼稚園、学校、地域、行政がネットワークをつくり子どもたちを育てることが重要。
- ・実感させることをベースに教師や親の押し付けではなく、子どもたちの自発的な行動で実践されていることに感動し、とても参考になった。目標を共有することの大切さ、おいしいと思う気持ちになれる環境づくりが必要というメッセージを受け取ることができた。
- ・食べ物を「作る」として「食べる」ことに連続性を持たせて教育を行うことが効果的であることがわかった。

会員団体のお知らせ実績(ホームページ及びメールマガジン掲載分)

年	月	団体名	タイトル
20	4	京都市・京都市中央卸売市場協会	平成20年度「食の海援隊・陸援隊」(京都市中央卸売市場会員)の募集について
	4	(社)京都府歯科医師会	公開講演会「子どもの歯の健康と食育ーフッ化物洗口・京都からの発信ー」
	5	京都市	京都市版「京(みやこ)・食事バランスガイド」
	5	農林水産省近畿農政局	食育月間シンポジウムのお知らせと参加者の募集
	5	農林水産省近畿農政局	大学生のための農業体験&食育セミナー
	5	ネットワーク事務局	きょうと食育ネットワーク講演会
	6	農林水産省近畿農政局	亀岡市で食育パネル展を開催
	6	ネットワーク事務局	食育リレー講座を開催します。
	6	京都府生活研究グループ連絡協議会	食育リレー講座「郷土料理伝承講習会」
	6	(社)京都府助産師会	食育リレー講座「親になるかもしれない貴方へー赤ちゃんからのメッセージー」
	6	(社)京都府栄養士会	食育リレー講座「いきいき健康フェア(調理の不思議)」
	7	京都市	平成20年度食育コンテスト「わくわくこんだてじまん(朝ごはん)」の実施
	7	(社)京都府栄養士会	牛乳に関するセミナー「健康に対する牛乳の役割」
	7	京都リビング新聞社	「親子で食育！親子クッキングセミナー」
	8	(社)京都府畜産振興協会	「たまご研究会」の開催
	8	京都府生活協同組合連合会	食育リレー講座「小学生のための食育～生協たべる*たいせつキッズクラブの活動紹介～」
	8	特定非営利活動法人コンシューマーズ京都	第39回京都消費者大会
	9	京都市・他	第17回市民すこやかフェア2008
	9	京都市中央卸売市場協会	市場見学会
	9	京都生活協同組合	第4回わくわく！どきどき！ふぁーむねっとレストラン
	9	京都府生活協同組合連合会	2008・京都・たべるたいせつフォーラム「がんばれ日本農業！漁業！」
	9	農林水産省近畿農政局	「食事バランスガイド活用勉強会」のお知らせと参加者の募集
	10	京都女子大学 家政学部食物栄養学科	京都女子大学栄養クリニック開設
	10	(社)京都府歯科医師会	食育リレー講座「食育ー歯科からの発信ー」
	10	京都府食生活改善推進員連絡協議会	食育リレー講座「おやこ料理教室 わくわくクッキング」
	10	京都市	京の農林秋まつり
	10	KBS京都	KBS京都マルシェ「秋の収穫祭」
	10	京都市中央卸売市場協会	「鍋まつり」の開催について
	10	京都市	やっぱり安心地元産 触れて実感！ 京の農林秋まつり
	10	京都府立大学食事学研究室	「今日(京)からはじめよう メタボリック対策！」
	10	京都府立大学食事学研究室	京都の食文化に学ぶ健康食～五味・五色・五法を五感で味わう～
	10	ネットワーク事務局	きょうと食育シンポジウム2008
	10	同志社大学大学院総合政策科学研究科	有機農業推進フォーラム
	11	京都府生活研究グループ連絡協議会(た ちばなグループ 他)	特産みかんによるジャム作り
	12	(社)京都府食品産業協会	冬の華やぎ～世界に誇る『源氏物語』と日本の食・食文化の伝承
21	1	農林水産省近畿農政局	子どもの食を考える！食育実践者向け勉強会in京都
	1	(社)京のふるさと産品価格流通安定協会	京野菜・IH料理教室
	2	特定非営利活動法人コンシューマーズ京都 京都府生活協同組合連合会	食と農のひろば2009 食と農の未来をどうきりひらくか？
	2	KBS京都	KBS京都マルシェ「春の収穫祭」
	2	ネットワーク事務局	「きょうとの食育」サポート企業を募集
	3	京都市	伏見新食感宣言！！「伏見食ブラ祭り」

20 団体(事務局含む)

お知らせの数 計41

きょうと食育支援活動 利用実績

会員団体名	活動概要	依頼元	依頼内容
社団法人 京都府栄養士会	食生活指導・資料等提供	その他	平成20年8月2日(土)10:00~12:00と14:00~16:00 場所:京エコロジーセンター いきいき健康フェア(調理の不思議) 調理実習とミニ講義 栄養士会スタッフ 7名 対象者:5歳~小学生と父兄 参加者:子ども26名 父兄21名
		京都市	平成20年9月6日(土)~9月7日(日) 場所:京都国際会議場イベントホール マンガフェスタ(パソコン食事診断・ゲーム) 栄養士会スタッフ 9名 対象者:一般市・府民
		その他	平成20年10月18日(土)10:00~13:00 場所:京都栄養士会館 健康料理教室(親子対象)「手作りおやつ」調理実習とミニ講義 栄養士会スタッフ2名 対象者:小学生と父兄 参加者:子ども6名 大人5名
		京都府	平成20年10月25日(土)10:30~14:30 場所:ジャスコ久御山店 平成20年10月31日(金)10:30~14:30 場所:ジャスコ福知山店 食育空白世代解消事業(パソコン食事診断) 栄養士会スタッフ6名 対象者:一般市・府民
		京都府牛乳協会	平成20年12月5日(金)13:20~14:10 場所:八木中学校(2年生 74名) 美山中学校 和知中学校 骨に関する講演 講師1名
		リフレコーポレーション	平成20年11月1日(土)10:00~14:00 場所:立命館宇治高等学校 学園祭催しの一つとして 骨密度測定後の個人指導 栄養士会スタッフ2名
		向日市社会福祉協議会	平成20年11月29日(土) 子どものおやつ作りをテーマにした講座 栄養士会スタッフ2名
		近畿農政局	平成21年1月14日(水) 10:00~16:00 場所:聖母女学院短期大学 学生の食事調査対象 30名 栄養士会スタッフ4名
		京都府	平成20年9月~12月 献血時大学生栄養指導 パソコン食事診断 栄養士会スタッフ50名 場所:各大学構内 25箇所
		京都府食生活改善推進員連絡協議会	食生活改善推進員の派遣
各中学校	平成20年11月17~21日(月~金)10:00~12:00 「ヘルスサポーター21事業」 講師7名派遣 参加者140名(京丹後市在住中学生) 他 府内5会場 参加中学生300名		
その他	平成20年9月14日(日) 「スポーツ少年食育教室」 講師5名派遣 参加親子160名(京丹波町在住親子) 他 府内5会場 参加小学生親子300名		
その他	平成20年11月7日(水)13:00~15:00 「よい食生活をすすめるための料理講習会」 講師3名派遣 参加者25名(木津川市在住民) 他 府内58会場 参加者1,375名		
その他	平成21年1月20日(日)10:30~12:30 「男性のための料理教室」 講師4名派遣 参加者30名(精華町在住民) 他 府内35会場 640名		
その他	平成20年11月7日(水)18:00~21:00 「ヘルスサポーター21事業」 講師6名派遣 参加者20名(京丹後市在住民) 他 府内40会場 960名		

会員団体名	活動概要	依頼元	依頼内容
京都府農業士会	農業士の派遣、農場見学の受入れ	宇治田原保育所	実施日:平成20年6月13日(金) 名称:農業体験 対象者:保育所年長児 参加人数:50名 派遣人数:1名 内容:みず菜の種まきを支援
			実施日:平成20年7月4日(金) 名称:農業体験 対象者:保育所年長児 参加人数:50名 派遣人数:1名 内容:みず菜の収穫と調製を支援
		やましろ食育プロジェクト	実施日:平成20年12月2日(火) 名称:八幡市立八幡第四幼稚園での農業体験 対象者:幼稚園年中児、年長児 参加人数:70名 派遣人数:1名 内容:大根の収穫を支援
		木津川市内小学校	実施日:平成20年12月 名称:農業体験 対象者:小学生 派遣人数:1名 内容:大根の収穫を支援
		木津川市相楽台保育園	実施日:平成20年12月 名称:農業体験 対象者:保育園児 派遣人数:1名 内容:保育園での野菜栽培を支援
全国農業協同組合連合会京都府本部	イベントでの牛乳供給(畜産酪農課)	中央酪農会議近畿生乳販連	実施日:平成20年11月23日(日)10:00~12:00 場所:西京極総合運動公園(京都サンガ公式試合会場) イベント名称:「牛乳に相談だ」キャンペーン 内容:牛乳普及活動、酪農理解醸成運動(チラシ・グッズの配布) 要員:派遣者 職員6名と関連団体関係者20名 対象者:サッカー観戦来場者
		その他	実施日:平成20年11月23日(日)10:00~12:00 場所:京都パルスプラザ イベント名称「京都府農林水産フェスティバル2008」 内容: 要員:派遣者 職員6名 対象者:フェスティバルの来場者